



NEWS LETTER

Vol. 10

January 2014

日頃はペイ・フォワード倶楽部の活動に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このニュースレターは、ペイ・フォワード倶楽部の正会員・賛助会員・サポーター会員にご登録いただいた方にお配りしています。

年に1一度、ペイ・フォワード倶楽部の活動をご報告いたします。



変革の年だった2013年

平素は当団体の活動に、深いご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

2013年度は、世界各地・日本国内でも、激動の年となりましたが、当団体にとりましても、変革の年でもありました。

①2012年末からスタートした、「アジア地域への支援事業」の第一歩としてベトナムの男子（枯葉剤の影響と考えられる心臓疾患）の日本での治療への取り組み。

②NPO法人としての使命に基づいた活動のための組織改革。

ベトナム男子への支援は、産経新聞社「明美ちゃん基金」担当社会部記者の北村氏との数回にわたる打ち合わせを行い、父親が同行して日本で診察を受ける提案を頂いています。

日本での診察は、国立循環器病センターか大阪大学病院を予定されています。

また、組織改革としては、活動の柱を明確にすることで、支援をしてくださる会員の増強に力を入れ、NPO法人としての真の

姿を構築していきます。この2項目は、今後の団体活動を考えた時に、非常に重要な意味を持つものと考えます。

詳細については、活動報告・活動予定で、ご覧くださいませ。

社会の中で真に必要とされるNPOとして活動するためには

サークルとして2001年から活動をスタートし、2008年には法人格を取得し活動を展開してまいりましたが、その間、数えきれない多くの方からのご協力や励ましなどを頂きながら進んでまいりました。

NPO活動はまず最初に、「思い・熱意ありき」ですが、ともすれば「思い・熱意」にとられすぎ、周りが見えなくなる危険性があります。それに加えて、団体運営という資金的な問題も見据えて活動をする必要があります。

「思い」と「資金」という、両輪のバランスがうまく執れて初めて、社会の中で真に必要とされるNPOとして活動が展開できると痛感しています。

今年の大きな目標として、JICAの草の根事業に申請をして、開発途上国（カンボジア）の支援に取り組む予定です。また、昨年より引き続き継続していく事業としては、アジア支援の拠点作り（大阪府北摂を予定）があります。両事業とも、実現するためには様々な課題が山積しています。

真に社会の中で必要とされ・信頼されるNPOとして成長できるように、会員はじめ支援をくださる皆様のご意見を真摯に受け止めながら、取り組んでまいります。

今年度も、ご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

2014年1月

特定非営利活動法人
ペイ・フォワード倶楽部
理事長 田川純子

平和村 便り

平和村からのメッセージ

2013年も残り少なくなりました。皆様にとって、目標を達成したり、願いが叶った1年でしたでしょうか。
アンゴラやアフガニスタン、中央アジアの国々、コーカサス地方の国々からドイツ国際平和村へやってきている子どもたちの願いは、まず「傷や病気を治して健康を取り戻すこと、元気になること」です。ドイツ国際平和村では、この子どもたちの願いを叶えるために、2014年も子どもたちへの支援を続けていきます。

この地球上には、子どもたちが安心して子どもらしく生きることのできない、それどころか、戦争や紛争、貧困の中で生きなくてはならない場所がたくさんあります。ドイツ国際平和村はこうした国や地域において、子どもたちが子どもとしての時間をその手に取り戻せるよう、活動に取り組んでいます。そしてそのための重要なカギとなっているのが、子どもたちの健康です。ウズベキスタンやアルメニア、カンボジアといった国々において、ドイツ国際平和村は、現地の医療状況の改善を目指したプロジェクトを進めています。それと同時に、母国では治療が不可能な子どもたちについては、ドイツにおける治療の機会を提供しています。こうした子どもたちは、ドイツ各地の協力病院での手術や治療を終えた後、様々な国からやって来た他の子どもたちと共に、帰国までの期間をオーバーハウゼン市にあるドイツ国際平和村の施設で過ごします。現在、平和村施設では、8つの国々からやって来た子どもたちが、一緒に遊び、時にはけんかをしたり仲直りをしたりしながら、大切なことを、「たとえ言語や文化的背景が異なっても、平和に共存することが可能だ」ということを、その生活の中から学んでいます。そして子どもたちは、「健康」な体と共に、その経験をそれぞれの母国であるアンゴラやアフガニスタン、中央アジアやコーカサス地方の国々へと持ち帰っていきます。

ドイツ国際平和村を訪れた多くの方々は、平和村施設に滞在している子どもたちの姿を目にし、衝撃を受け、そして心を揺り動かされます。それは、ごく自然な反応かもしれません。一方で、私たちが本当に伝えたいこと、それは、平和村が喜びと希望にあふれた場所であるということです。子どもたちは、「生きること」の素晴らしさを私たちに教えてくれます。子どもたちの中にあるのは、トラウマではなく、パワー、エネルギー、生きるための活力なのです。毎年数百人にもものぼるこ



うした子どもたちへの支援に、ペイ・フォワード倶楽部の皆様をはじめ、日本からご支援下さる多くの方々と共に取り組めることを、何よりも嬉しく思っています。子どもたちが見せてくれる素敵な笑顔は、数え切れないほど多くの方々からのご寄付、ボランティアなど様々な形でのご支援なしには、見られることはなかったでしょう。心からの感謝と共に、子どもたちの笑顔をお届けしたいと思います。

新しい年の365日が、健康な日々、そして喜びと笑顔に溢れた日々となりますように。2014年も引き続き、ドイツ国際平和村の活動を応援していただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

2013年12月吉日
FRIEDENSDORF INTERNATIONAL
ドイツ国際平和村
中岡麻記



★ Vietnam ベトナム視察

視察日：2013年8月5日～8日、12月4日～7日の2回訪問



▲NPOイベントにて、ドクちゃん（さくらちゃん）、息子さん（富士君くん）



ベトナム平和村で暮って、社会人となり現在はボランティアとして活躍。水泳のチャンピオン。

2度のベトナム訪問を終えて昨年団体として取り組んできた、ベトナム男子の日本での治療に向けて、ベトナム平和村を訪問して進捗状況と子どもの病態の確認などを行いました。また子ども病院（公立）も見学し、0歳から6歳までの子ども医療費は無料となっている中で、医療の現場切実な現状を目の当たりにしました。ベトナム男子の日本での治療については、今後も状態を見守りながら、支援を続けてまいります。
ドイツ国際平和村の支援を住にベトナム平和村への支援をスタートし、社会や文化など日本との様々な違いなどを学ぶことができ、また新たな信頼関係を構築できた1年でした。

Cambodia カンボジア視察

視察日：2013年9月8日～11日、12月7日～11日の2回訪問

NGO 団体 SEED OF SMILE さんとの出会い

カンボジアの首都プノンペンには、インフラ・教育・医療など、すべてにおいて、開発途上という印象を強く感じました。ポルポト政権（1975年～1996年）による有知識者の大量虐殺が行われたことから国が崩壊したのですが、復興にはまだまだ時間と多くの支援が必要と感じました。キリングフィールドやJICAを訪問し、また、貧困層が多い山岳部から出稼ぎに来ている若い女の子たちの話を聞いたり、今後に繋がる情報を沢山得ることが出来ました。また、12月のシュムリアップでは、NGO 団体 SEED OF SMILE さんが支援する「子ども村」を訪問し、支援物資を渡したり子どもたちの生活を視察することが出来ました。この御縁を大切に、「子ども村」支援は2014年の当団体の大きな事業となって行きます。



「子ども村」の子どもたち



放置されていた子どもを保護し、井戸で汚れを落とす様子



3カ国の視察を終えて思う事は、私たちに出来る支援がきっとある！という事です。小さなことでも、続けることがとても大切だと思っております。どんな状況の中でも輝く笑顔の子どもたちに、とても励まされました。

Thailand タイ視察

視察日：2013年9月5日～8日



スラム街の幼稚園敷地内



スラム街の子どもたち

バンコク中心部に近いスラム街へタイクラフトバザール展とスラム街の視察を行いました。
バス・地下鉄・車など、交通網はアジアの中でも比較的整っており、首都バンコクには日本からの企業も多く進出しています。タイクラフトバザール展は、私立病院の一部が会場となっており、フエイトレード製品を中心に多くの出店がありました。もちろん病院の診療も平常通り行われており、設備の整った病院では富裕層（海外からも来るとのことです）の方が多く診察を受けに訪れていました。
また、バンコク中心部から近い場所にあるスラム街では、地区に住む子どもたちが通っている幼稚園とその周辺を視察しました。その幼稚園では先生が中心となって、スラム街の方たちの自立支援をされており、支援物資を購入して頂きました。
現地でのガイド役をお願いした、「ソップモエアーツ」の磯村さんには大変お世話になりました。

Activity Report 活動報告

2013年
活動報告

- 毎月第3火曜日 吹田市千里山の地域活性化プロジェクト「元気！プロジェクト」実行委員会
- 1月3～7日 ベトナム・フィリピン視察
- 1月27日 講演会「アジアの紛争で傷ついた子どもたちに日本で治療を！」
- 2月19日 弘済中学校分校講演会
- 3月末日 ニュースレター発行
- 4月14日 「千里山 元気！寄席」(吹田市千里山地域活性化イベント)
- 6月9～16日 ドイツ国際平和村訪問ツアー
- 7月 千里山 元気！通信夏号発行
- 8月5～12日 ベトナム平和村・カンボジア視察
- 8月18日 わたなべゆう チャリティーコンサート
- 9月5～11日 タイ・カンボジア視察
- 10月20日 Rua Feliz(吹田市千里山地域活性化イベント)
- 11月24日 千里山イルミネーション「絆」(吹田市千里山地域活性化イベント)
- 12月5～11日 ベトナム・カンボジア視察



1月講演会



チャリティーコンサート



わたなべ ゆうさん



Rua Feliz



2月講演会

2014年
活動予定

- 3か年 カンボジアの子ども支援事業
- 毎月 吹田市千里山の地域活性化プロジェクト「元気！プロジェクト」実行委員会
- 4月20日 「千里山 元気！寄席」(吹田市千里山地域活性化イベント)
- 5月17日 わたなべゆう チャリティーコンサート
- 5月 吹田ボランティアフェスティバル
- 6月9日～ ドイツ国際平和村訪問ツアー
- 10月 Rua Feliz(吹田千里山地域活性化イベント)
- 11月 千里山イルミネーション(吹田千里山地域活性化イベント)

Friedensdorf International ドイツ国際平和村訪問ツアー

2013年ドイツ国際平和村訪問ツアー

【日程】2013年6月9日～16日
【訪問地】ドイツ国際平和村(ドイツ オーバーハウゼン)
【参加者】7名



参加者の皆さんと平和村の子どもたち

ドイツ国際平和村スタディーツアーに参加して

私は、初めてこのツアーに参加しましたが、本当に行って良かったと思っています。6月のドイツは気候も良く、景観も美しくまさにヨーロッパの良さが凝縮されているようでした。平和村の宿舎の裏には森があり、朝になると小鳥の音が聞こえ別世界にいる様でした。ツアーでの子どもたちとの交流がとても印象的で、これは一生忘れることはないと思います。子供たちは明るく、女の子はおしゃれで、男の子はやんちゃで実に子供らしく可愛かったです。でも、子供達のけがを見て、私は言葉で表せないほど衝撃を受け、うろたえてしまいました。今まで知らなかった現実がそこにあり頭が真っ白になりました。このスタディーツアーは他ではできない体験ができました。それは、ペイ・フォワード倶楽部がドイツ国際平和村と10年以上に渡り培ってきた信頼関係があるからできる体験なのだとことを実感しました。外からだけでは解らない、見るだけでは解らない、貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。(池田淑子)

2014年度ドイツ国際平和村ツアー

笑顔の子どもたちに会いに行こう！

【日程】2014年6月9日(金)～14日(土)
ペイ・フォワード倶楽部のツアーだからできる一般では宿泊できないドイツ国際平和村に4泊します。子どもたちとの触れ合い、本部訪問、リハビリ見学、平和セミナー等、平和の意味を知る、感動体験スタディーツアーです。

■お申込み・お問い合わせ先
株式会社マイチケット (TEL.06-4869-3444)



■ドイツ国際平和村への募金■

第23回
312,000円

(総額 5,490,668円)